

山陰総合 sanin

島根原発「テロ対策不十分」

隣接地建物所有者 規制委に要請書



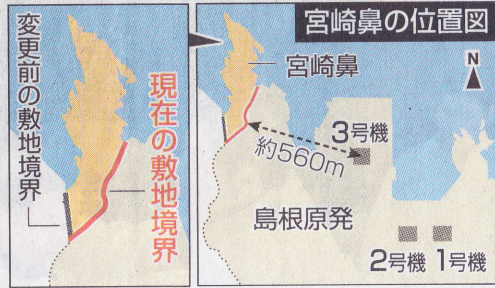
中国電力島根原発(松江
市鹿島町片匂)の敷地に隣
接する半島部「宮崎鼻」に
建物を所有する男性が25



島根原発の敷地に接した宮
崎鼻の岩場に立つ平塚義夫
さん(右端)所有の小屋。
左奥は島根原発3号機。松
江市鹿島町片匂

日、原子力規制委員会に対
し、敷地境界のテロ対策が
不十分で不審者が侵入する
恐れがあるとして、稼働の
前提となる審査合格を出さ
ないよう要請した。

宮崎鼻は原発敷地の北西
にあり、建設中の3号機の
炉心から560mほどの位置に
敷地境界がある。複数の地
権者が南北600m以上の土地
を所有し、片匂区民の共有
林やノリ漁が行われる岩場
があり、魚釣りを訪れる人
もいる。



規制委の更田豊志委員長
宛てに要請書を提出した運
送会社社長の平塚義夫さん
(51)は、松江鹿島町佐陀本
郷は、敷地境界には20
16年に監視カメラ付きの
フェンスが設けられたもの
の乗り越えることが可能と
推測。このため、中電が適
切な措置を取るまで審査を
終えないよう求めている。

宮崎鼻を巡っては、3号
機の増設を計画した中電が
一帯を「取得予定地」とし
て原発敷地に含め、00年に
原子炉の設置許可を国に申
請。その後、地権者との交
渉が難航したため、土地取
得を断念して敷地境界を変
更し、05年に許可を受けた
経緯がある。

04年に釣り人用の小屋を
岩場に建設した平塚さん
は、原発の保全のために必
要だと説明していた土地を
取得しないまま3号機の建
設や2号機の再稼働手続き
を進める中電の姿勢を問題

視。建造物が設置され、フ
ェンスもなく容易に原発敷
地に立ち入ることができた
05年当時、対策を求めるこ
となく国が原子炉の設置を
許可した理由も質問し、9

月8日までの文書回答を求
めた。

27日に現場を視察した立
憲民主党の亀井亜紀子衆院
議員(比例中国)は「安全
対策が不十分で審査合格を
出せる状況にない」と述べ、
政府に見解を問う「質問主
意書」を出す意向を示した。
(平田智士)